

焼津市指定管理者選定委員長 様

焼津市経済部指定管理者運営評価委員長
大本 裕一

焼津市経済部指定管理者運営評価委員会報告書

施設名	焼津市勤労会館（サンライフ焼津）
事業年度	平成31年4月1日から令和2年3月31日まで
指定管理者	ジェイ・エス共同事業体
担当者	商工課（商工政策担当）

委員会報告事項	評価
<p>令和2年10月13日に本委員会を開催し、令和元年度の焼津市勤労会館（サンライフ焼津）の運営について、指定管理者の事業報告及びヒアリングを経て、審議を行った。</p> <p>使用料収入について、浴室が当館の主力収入となっているが、平成30年5月に市内の温泉の井戸が故障したため、同年5月22日から平成31年2月25日の間（236日間）休業した。この期間に他温浴施設に移った利用者の呼び戻しが難しく、事故前の平成29年度と比べ減収となった。</p> <p>利用者数については、浴室休業の影響が続き、平成29年度より16,413人減少し、129,816人であった。トレーニング室については、トレーニング機器の一新や低額な利用料金が支持され、平成29年度より利用者が増加したものの、令和2年2月頃から、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け利用者が減少したため、平成30年度より低い水準となった。</p> <p>施設・設備管理については、令和元年度当初に、防犯カメラを新調するなど防犯対策にも注力したことや、人手不足の状況が続く中スタッフの人材確保に尽力し、必要な人員の配置に努めるなど適正な管理運営が行われていたと判断できる。</p> <p>収支については、平成30年度の温泉事故や令和元年度秋の工事に伴う浴室休業、年明け以降は新型コロナウイルス感染拡大の影響により苦勞しているが、ホームページのリニューアルやWi-Fi導入等利用者増加に向けた取り組みや、地元自治会への積極的なPR活動の姿勢も見られ、安定した事業運営が行われていたと判断する。</p> <p>自主事業については、平成29年度と比較し収入が減少した。浴室休業により来館者が減少したことで物販や自動販売機の収入が減少したことが一因に挙げられる。しかし食堂の営業時間やメニューを変更しほか、野菜直販などの集客イベントを行うなど改善工夫が見られた。</p> <p>今後に向けた提案として、施設を幅広く利用してもらうために、浴室と食堂のセット券の販売や、焼津市で行われているイベントとコラボレーションするといった意見が委員から出された。</p>	適正

<p>以上、いくつかの改善すべき事項はあるものの、勤労会館の運営については、本委員会として委員全員「適正」であるとの結論に達した。今後、勤労会館の設置目的に沿って、施設運営の向上をめざし一層努めることを期待する。</p>	
--	--